

凧の吹く11月になりました。山里の紅葉がふもとに降りてくる季節です。

大学では学園祭のシーズンです。大きな大学の学園祭では数万人の動員があるようです。大学の知的地位の低下とともに、学術的な展示が減り、模擬店とイベントのオンパレードになっているのは全国的な傾向。それでも、ゼミの発表などで頑張っている展示があると、不入りでも激励したくなります。

今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

---

【1】最新活動報告

10月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

---

【1】最新活動報告

---

10月は部会は一つでした。その内容を報告します。

■京都部会 (No. 26) を開催しました。

日時：2014年10月3日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加者：8名でした。

【内容要旨】

(1) 経済教育ネットワークの篠原総一代表者から8月に実施された「先生のための夏休み経済教室」の報告がされました。

(2) 11月15日に東京証券取引所との共催で日本大学において開催される「秋の経済教室」についての紹介がされました。講師の宮尾尊弘先生(南カリフォルニア大学)によるYoutubeを利用した講義が予定されています。

(3) 9月の大阪部会で報告された山本雅康先生(奈良学園中・高等学校)の実践、公共財ゲーム「マンションの耐震化工事」の成果についての紹介があり意見交換が行われました。耐震化工事によるマンションの資産価値上昇に伴って固定資産税の増加を引き起こすことになり、その結果が「囚人のジレンマ」になる可能性をさらに強めるので改良の可能性があるのではという意見がだされました。

(4) 関連して時間選好率についてのトピックスは利子率を理解させるために必要となるが、中学校や高等学校の生徒にそれを理解させるのは難しいのではないかという意見がでました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto026report.pdf>

---

## 【 2 】 イベントカレンダー

---

これからのイベントと部会を紹介します。

### ■先生のための『秋の経済教室』を開催します。

講師：宮尾尊弘先生

日時：2014年11月15日（土）16時00分～17時30分

場所：日本大学経済学部

参加方法は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2014%20keizaikyoushitsu/2014RR.Fall%20Prof.Miyao.pdf>

なお、講義の基になる宮尾先生のシンプル経済教室はYouTubeで見ることができます。事前に視聴しておくとう理解が進みます。

### ■東京部会（No. 70）を開催します

日時：2014年11月15日（土） 15時00分～16時00分

（秋の経済教室の前の時間帯です）

場所：日本大学経済学部

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/tokyo070flyer.pdf>

### ■大阪部会（No. 41）を開催します

日時：2014年11月29日（土） 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト（予定）

大阪市北区梅田 1-12-17 梅田スクエアビルディング 17階

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/Osaka41flyer.pdf>

### ■京都部会（No. 27）を開催します

日時：2014年12月13日（土）17時00分～19時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto027flyer.pdf>

■札幌部会 (No. 11) を開催します

日時：2015 年 1 月 31 日 (土) 14 時 30 分～17 時 00 分

場所：キャリアバンク セミナールーム

札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地

sapporo55 5 階 (JR 札幌駅紀伊国屋のビル)

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo012flyer.pdf>

---

【 3 】授業のヒント

---

■テスト問題を公開しよう

三学期制の学校は中間考査が終了した時期だと思います。先生方はテスト問題の作成、採点と平常勤務もあり、目の回るような忙しさのなかにいるかと思います。

テスト問題には、その先生の日頃の授業がストレートに反映されています。単純な知識問題は別として、これは生徒に伝えたい、考えさせたいと工夫した授業がどの程度生徒に定着しているかという部分がテストには詰まっています。夏の経済教室 (東京高校) でも大杉昭英先生からテストの作り方のレクチャーがありました。すべての問題を大杉先生が紹介したような工夫されたものにするのは難しいとしても、そういう種類の問題を一題でも入れたテストとしたいものです。

経済分野を教える公民科や社会科公民的分野は担当者が少数、もしくは一人の学校が多いはずで、そうすると、他の人たちがどんなテストの工夫をしているかなどが見えません。そこで、テスト問題をみんなで検討するために、ネットワークの大阪部会や札幌部会ではテスト問題の持ち寄りがはじまっています。ネットワークの「オープン討論室」などをつかって、情報交換もよいかもかもしれません。できれば、結果なども紹介されると役立つものになりそうです。

ちなみに、新井の中三公民の中間考査では、

- ①日常生活もしくは経済の問題のなかで機会費用に関する事例をあげて、  
②見えるコスト、③見えないコスト、④見えるベネフィット、⑤見えないベネフィットを区別して、⑥どうすれば最もよい選択がえられるかを述べなさい。(6 点配当)  
というような問題を出しました。

これは、経済学習の冒頭で機会費用の考え方を紹介しておいたのでその定着度を見る問題です。事前にこんなテーマで考えておきなさいという「傾向と対策プリント」を配付して準備をして

おくように指示しています。ほとんどの生徒が、テスト前に勉強するかゲームをやるか、授業中の内職とか、大学進学をするかなどの事例で分析を書いていました。

ほかに、価格と需要量、供給量の関係が次のようになっている時、

①均衡価格と②均衡取引量を求めなさい。③そのときの式も書くこと。(6点配当)

価格	10	30	価格	30	70
需要量	30	10	供給量	10	15

というような問題も出しました。前回(10月号)、紹介したようなクラスでの価格実験をしたうえで、似たような計算問題を紹介しておいて解答例を配付した上の問題です。生徒はすでに連立一次方程式を学んでいますから、その応用の問題でもあります。これはさすがに正答率が5割強で、抽象的に理解することの難しさが分かります。また、中三に学習指導要領を逸脱したこんな問題をやらせることの無謀さも出ているかもしれません。

このテストは、高校入試のない中等教育学校での事例です。全国の先生方が多様な生徒をまえてどんな授業をやっているかテストを通して情報交換ができるといいですね。

なお、東京都公民科・社会科教育研究会の紀要50号では、定期テストの検討という企画のなかで、東京の高等学校の先生方の定期考査問題が資料として掲載されています。(新井)

---

#### 【4】編集後記(みみずのたはこと)

---

先日久しぶりに早稲田大学に行きました。土曜日だったので特にめだったのかもしれませんが、構内を歩いている学生が国際色が豊かになっていることと高齢者が多く目につき、少々驚きました。国際色の点では、欧米系の学生もいますが、中国語が飛び交っているのが印象的でした。早稲田は外国人の留学生数は日本一という報道を読んだことがあります。高齢者はエクステンションセンターの講義があったせいかもしれません。内向きとか閉鎖的と言われている日本の大学ですが、確実に変化していることを実感させる風景でした。先生方の地元の大学はいかがですか。(新井)

=====  
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====

